

# 九州電力CSRダイジェスト2017 ハイライト



お客さま満足の  
創造

## 電力を絶やさず安定的に お届けします

2016年度は、「平成28年熊本地震」や「台風16号」などの自然災害がありましたが、総力を挙げて復旧作業にあたり、早期に送電しました。

### ■平成28年熊本地震(最大停電戸数:約48万戸)

全国の電力会社からも応援をいただき、最大約4,200名を動員。本震発生(2016年4月16日)から4日後までに、発電機車などにより高圧配電線への送電を完了



安全・安心の  
追求

## 原子力発電所の安全確保に 万全を期します

当社の原子力発電所は、「世界でも最も厳しい水準にある新規基準」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。

今後も、「福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさない」という固い決意のもと、更なる安全性の向上に取り組んでいきます。

### ■重大事故を防ぐ5つの段階に応じた多様な安全対策を実施

#### ①異常の発生を防ぎます

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害への備えを強化

#### ②異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保する発電機を新たに配備

#### ③燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するポンプを新たに配備

#### ④格納容器の破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施

#### ⑤放射性物質の放出及び拡散を抑えます

放射性物質の放出・拡散を抑える放水砲や水中カーテンを配備



環境にやさしい  
企業活動

## 地球温暖化防止に 積極的に貢献します

当社が事業参画する世界最大規模の地熱発電所(インドネシア)の初号機が、2017年3月に営業運転を開始。国内で培った地熱発電技術を活かし、地球温暖化防止及び現地の電力安定供給に貢献していきます。



サルーラ地熱発電所初号機(インドネシア スマトラ島 サルーラ地区)

〔プロジェクトの概要(当社25%出資)〕

事業内容	地熱資源開発から発電までの一貫開発 発電電力はインドネシア国有電力会社に30年間売電
出力	32万kW*(3系列)
運転開始	初号機:2017年3月、第2号機:2017年予定 第3号機:2018年予定

\*国内最大である当社八丁原発電所の約3倍の規模



地域・社会との  
共生

## 九州の明るい未来のために、 活動します

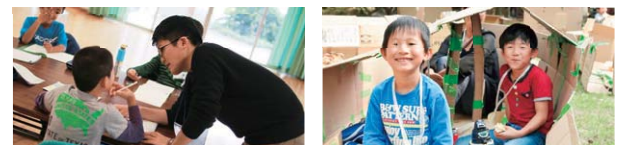
「九電みらい財団」を2016年5月に設立。九州電力の思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現していくため、環境活動・次世代育成支援活動を積極的に行っています。

### ■環境保全活動: 坊ガツル湿原(大分県)の自然環境保全

### ■環境教育活動: 社有林を活用した次世代環境教育



### ■次世代育成支援活動: 地域団体の活動への助成



「NPO法人 心音」(鹿児島県)  
~無料学習塾~

「きんしゃいきやんばす」(福岡県)  
~子どもの居場所づくり~

2016 年度 実績	環境保全活動	活動5回、約600名参加
	環境教育活動	活動19回、約700名参加
	次世代育成支援活動	20団体に助成



安全・安心の  
追求

# 原子力発電所の安全確保に万全を期します

当社の原子力発電所は、「**世界でも最も厳しい水準にある  
新規制基準**」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。

(原子炉設置変更許可:川内原子力発電所 2014年9月、玄海原子力発電所 2017年1月)

今後も、「**福島第一原子力発電所のような事故は  
決して起こさない**」という固い決意のもと、更なる安全性・信頼性  
向上への取組みを自主的かつ継続的に行っていきます。

■重大事故を防ぐため、5つの段階に応じた多様な安全対策を実施

**1 異常の発生を防ぎます**

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害に対する備えを強化

**2 異常の拡大を防ぎます**

重大事故の防止に必要な電力を確保するため、多種多様な発電機を新たに配備

**3 燃料の損傷を防ぎます**

燃料の冷却を確実に実施するため、多種多様なポンプを新たに配備

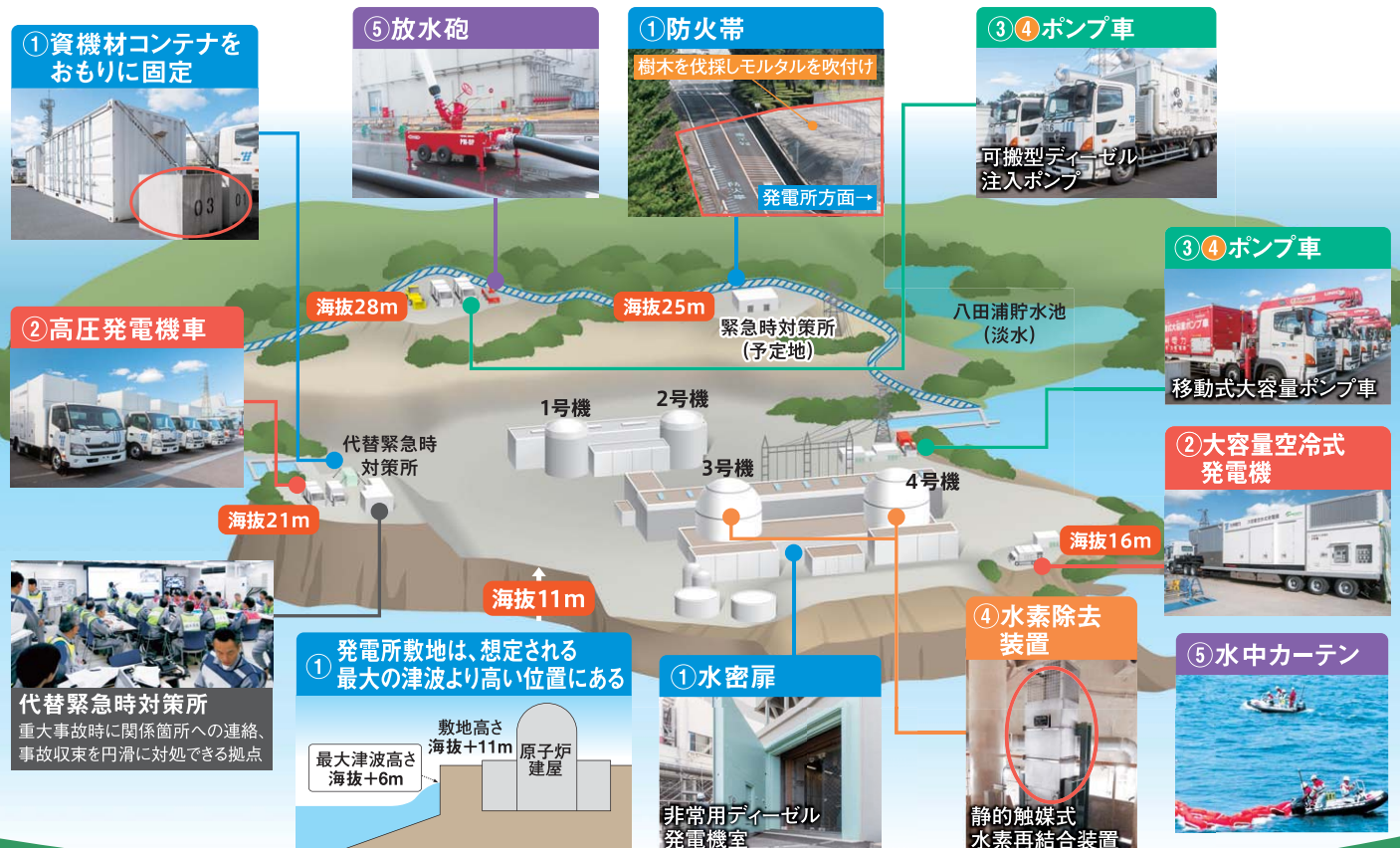
**4 格納容器の破損を防ぎます**

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施

**5 放射性物質の放出及び拡散を抑えます**

放射性物質の放出、拡散を抑えるため、放水砲や水中カーテンを配備

[玄海原子力発電所の安全対策(概要)]



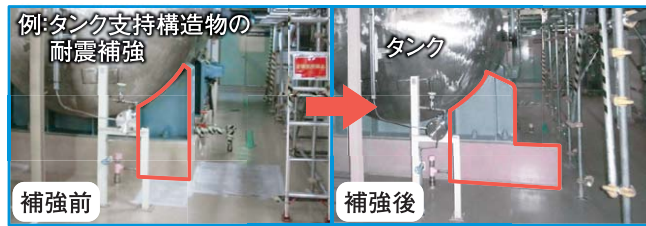
?

具体的にどのような安全対策を行っているの？

詳しくはウラ面へ

# 玄海原子力発電所における主な安全対策

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害に対する備えを強化



想定される最大の基準地震動(620ガルほか)を踏まえた耐震対策

1  
異常の発生を防ぎます



最大風速100m/秒の竜巻を想定した対策



発電所周辺での森林火災の延焼を防止する防火帯



建屋への浸水を防ぐ水密扉

2  
異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保するため、多種多様な発電機を新たに配備



外部電源や非常用ディーゼル発電機が使用できない場合のバックアップ電源

3  
燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するため、多種多様なポンプを新たに配備



水を供給する各種ポンプが使用できない場合に備えたポンプ車(④の対策にも活用)

4  
格納容器の破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施



原子炉格納容器内での水素爆発を防ぐ水素除去装置

5  
放射性物質の放出及び拡散を抑えます

放射性物質の放出、拡散を抑えるため、放水砲や水中カーテンを配備



原子炉格納容器の破損箇所へ水を直接噴射し、放射性物質の放出を抑制する放水砲

放射性物質の前面海域への拡散を抑制する水中カーテン



安全・安心の  
追求

# 原子力発電所では、万が一の重大事故に 備えた訓練を繰り返し行っています

万が一の重大事故等が発生した場合に、  
**あらゆる事象に速やかに対応**するため、  
さまざまな訓練を繰り返し行い、対応能力の向上に努めています。

〔地震や津波によって全ての交流電源を失った場合を想定した訓練〕  
夜間や悪天候下での訓練 など

## 電源供給訓練



高圧発電機車の電源ケーブル接続

## 冷却水供給訓練



移動式大容量ポンプ車の設置

## 放射性物質拡散抑制訓練



放水砲による放水



高圧発電機車による電源供給(夜間)



ホースの運搬・設置(夜間)

## がれき撤去訓練



重機によるがれき撤去

## 緊急時の運転操作訓練



シミュレータを使用した運転操作

## 原子力防災訓練



代替緊急時対策所での訓練

## 川内原子力発電所の緊急時の体制

勤務時間外や休日(夜間)でも、重大事故が発生した場合に速やかに対応するため、一班52名の対応体制を整備し、発電所やその周辺に常駐しています。

※玄海原子力発電所の重大事故等対策要員の体制についても、整備していきます。

区分	人数	
緊急時対策本部要員	4名	52名
運転員	12名	
重大事故等対策要員	36名	

?

この他にどのような取組みを行っているの?

詳しくはウラ面へ

# 自治体が主催する原子力防災訓練に参加し、 原子力防災組織が有効に機能することの確認や 防災対策の習熟を図っています。

## 自治体主催の原子力防災訓練

### 玄海原子力発電所の訓練



通報連絡訓練(代替緊急時対策所)



緊急時対応訓練(電源復旧)



緊急時対応訓練(火災対応)

### 川内原子力発電所の訓練



通報連絡訓練(本店即応センター)



原子力災害医療訓練



住民避難支援訓練

原子力発電所の重大事故を想定した自治体主催の原子力防災訓練に、当社も事業者として参加しています。

〔2016年10月〕

佐賀、長崎、福岡の3県合同による訓練  
(玄海原子力発電所)

〔2017年1月〕

鹿児島県による訓練(川内原子力発電所)

#### 【当社訓練の概要】

##### ・通報連絡訓練

発電所及び本店に緊急時対策本部を設置、TV会議による情報共有、通報連絡

##### ・発電所における緊急時対応訓練

電源復旧、緊急時モニタリング、火災対応

##### ・原子力災害医療訓練

##### ・住民等の避難退域時検査訓練

住民や車両等の避難退域時検査・除染

##### ・後方支援拠点の設置、運営訓練

事故収束活動を発電所外から支援する  
後方支援拠点の設置、運営

##### ・当社福祉車両による住民避難支援訓練

## 万が一原子力災害が発生した場合、 住民の皆さまの避難等に対して最大限の支援を行っていきます。

#### 【原子力防災支援に係る主な取組み】

- ・PAZ※圏内の要支援者の避難手段として不足する福祉車両やバス及び運転手等の確保
- ・避難退域時検査・除染、緊急時モニタリングの要員及び資機材の支援
- ・放射線防護対策施設・避難所等への生活物資(保存食、寝具等)の備蓄支援
- ・モニタリングポスト、オフサイトセンター、放射線防護対策施設への燃料補給支援

※原子力災害に関し、予防的防護措置を準備する区域。  
発電所から概ね5kmの範囲



福祉車両(ストレッチャー仕様)



福祉車両(車椅子仕様)



避難退域時検査・除染



燃料補給支援(モニタリングポスト)



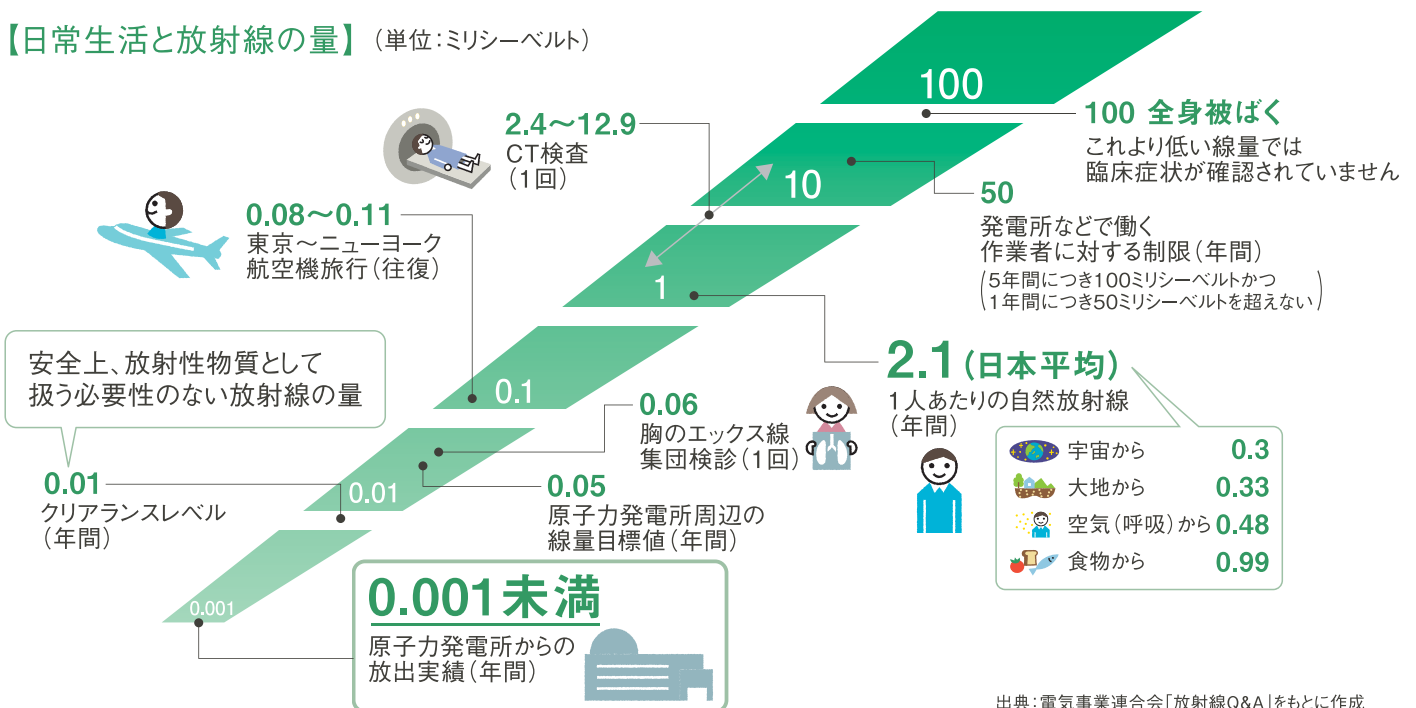
安全・安心の  
追求

# 原子力発電所では、発電所周辺での放射線量の管理を徹底しています

原子力発電所から放出される年間の放射線量は、自然界から受ける放射線量の

## 2,000分の1以下です。

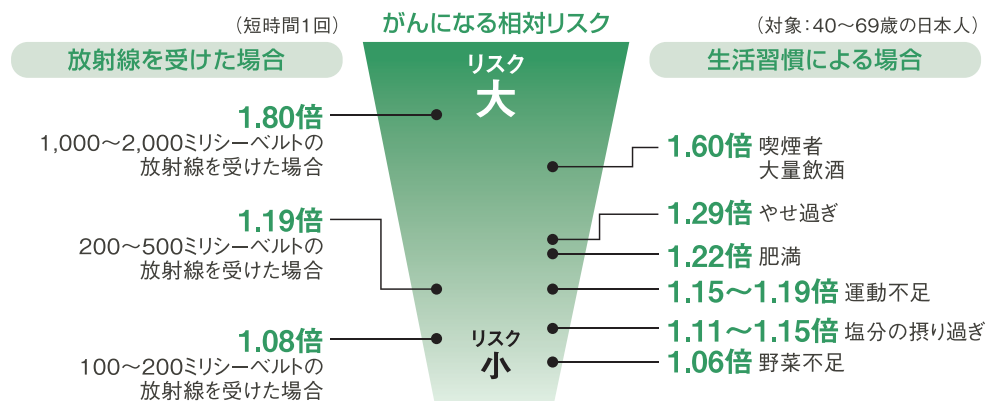
【日常生活と放射線の量】 (単位:ミリシーベルト)



## ■ がんになるリスクの比較 (放射線量と生活習慣)

放射線の被ばく線量が100～200ミリシーベルトあたりから、被ばく線量の増加に従い、発がんするリスクが増えます。

100ミリシーベルト以下では、放射線による発がんリスクの明らかな増加を証明することが難しい、ということが国際的な認識です。



出典: (独) 国立がん研究センター調べ、政府関係省庁「放射線リスクに関する基礎的情報」をもとに作成

(注) 広島、長崎の原爆による瞬間的な被ばくを分析したデータ (固形がんのみ) であり、長期にわたる被ばくの影響を観察したものではない

?

使い終わった燃料は、どうなるの?

詳しくはウラ面へ

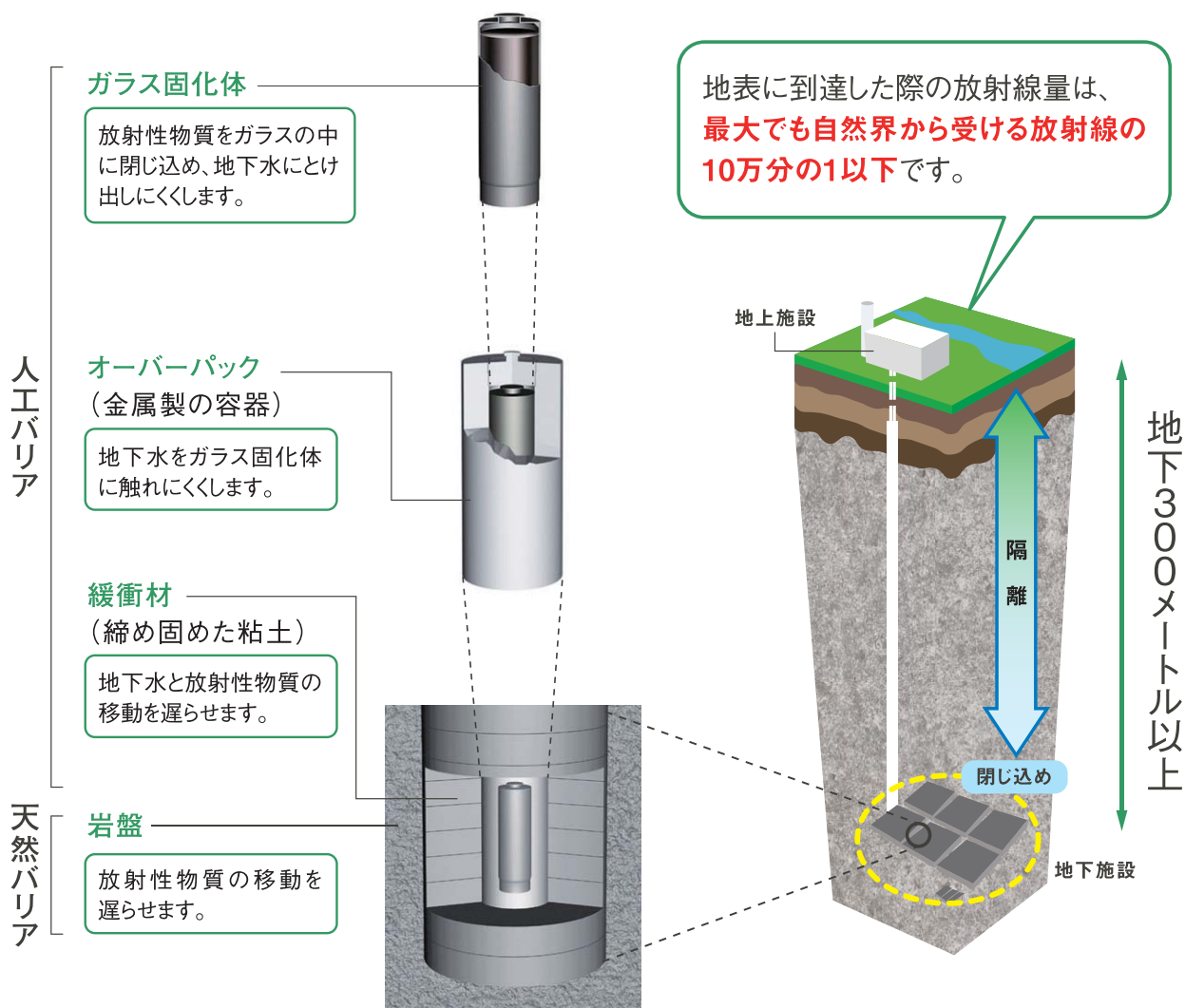
使い終わった燃料は、再処理して、  
ウランやプルトニウムを取り出し、燃料として利用することにしています。  
その過程で発生する高レベル放射性廃棄物は、何重ものバリアを施し、  
地下深い地層に安全に処分されることになっています。

### 放射性物質を閉じ込める多重のバリア

日本では、再処理の過程で生じる高レベル放射性廃液を、とろけたガラスと混ぜ合わせて安定した形態にして、地下300m以上の深い地層に処分することを基本方針としており、国際的にも、最も有望な方法として、諸外国で取組みが進められています。

今後、地層処分の実現への第一歩として、処分地選定調査の実施前の段階において、国が、全国各地の地下深部の科学的特性等を示すマップを提示する予定にしています。

国や原子力発電環境整備機構(NUMO)では、高レベル放射性廃棄物の問題の存在や地層処分の概要、処分地選定の進め方などについて、全国規模で、地域の皆さまとの丁寧な対話活動を進めていくこととしています。





お客さま満足の  
創造

## お客さまのニーズや課題にお応えする 価値ある商品・サービスを提供します

お客さまの生活や企業の経済活動を支えるため、  
**電力を絶やさず安定的にお届けします。**

2016年度は、「平成28年熊本地震」や「台風16号」などの  
自然災害がありましたが、総力を挙げて復旧作業にあたり、  
早期に送電しました。

### 【平成28年熊本地震】(最大停電戸数:約48万戸)

全国の電力会社からも応援をいただき、最大約4,200名  
を動員。本震発生(2016年4月16日)から4日後までに、  
発電機車などにより高圧配電線への送電を完了



### 【台風16号】(最大停電戸数:約25万戸)

九州各県から委託先等を含め最大約3,100名を動員。  
最大停電戸数発生時(2016年9月20日)から2日後までに、  
高圧配電線への送電を完了



## ■九州各県の森林組合連合会との 災害時の伐採に関する協定締結

2016年度に、九州各県の森林組合連合会と、災害時における速やかな  
倒木の除去作業に連携して取り組み、停電復旧作業を迅速に行うための  
協定を締結。

2016年9月の台風16号襲来時には、宮崎県内各地の森林組合に、高性能  
林業機械などを使って、倒木の除去作業にご協力いただき、速やかな復旧  
作業を実施することができました。



重機による倒木除去作業

?

この他にどのような取り組みを行っているの?

詳しくはウラ面へ



## お客さまのニーズにお応えする サービスを展開しています

お客さまが安心して暮らせる毎日をサポートする、「九電あんしんサポート」を展開しています(有料サービス)。

### 九電あんしんサポート

電気のことなら何でも **あんしん**

#### でんきサポート

突然起こる電気のお困りごとに  
電気のプロがワンストップで対応!

詳しくは  
コチラ!



離れていても **あんしん**

#### 親孝行サポート

離れて暮らす親御さまの様子を  
定期的に確認し、近況をお知らせ!

いつでも **あんしん**

#### みまもりサポート

ひとり暮らしの親御さまの電気の  
ご使用状況が普段と異なった  
ときにメールでお知らせ!

まさか!のときでも **あんしん**

#### 生活トラブルサポート

急な生活トラブルに24時間  
365日かけつけ応急対応!

手を借りたいときも **あんしん**

#### くらしサポート

お子さまの世話や家事の  
お手伝いなど日々のくらしの  
お困りごとを解決!

遠くのお家も **あんしん**

#### 空き家サポート

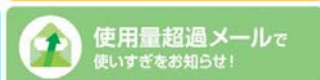
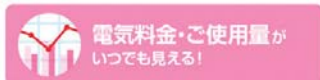
空き家になってしまった持ち家や  
実家。状況を確認し、写真付き  
メールでお知らせ!

ご先祖さまも **あんしん**

#### お墓サポート

遠くにお参りに行けないお墓の  
様子を確認し、写真付きメールで  
お知らせ!

会員サイト「キレイライフプラス」では、「電気料金やご使用量の照会」、電気の使用状況がよく似た他のご家庭とご使用量を比較する「省エネランキング」等の便利なサービスを提供しています。社員が取材した九州各地の「おでかけ情報」も発信しています。



\*スマートメーターのお客さま向けのサービスとなります。

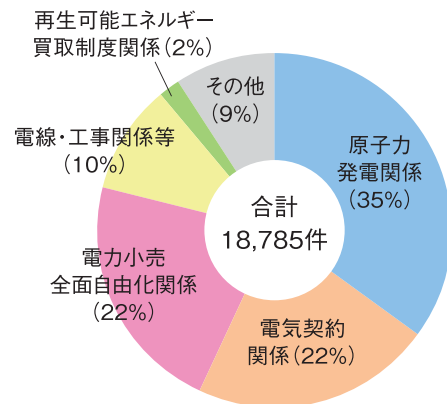


詳しくは  
コチラ!



## お客さまからいただいた声を 事業運営の改善に活かしています

2016年度は、お客さまから約19,000件の声をいただきました。お客さまの声は、経営層を含め全社で共有し、事業運営の改善につなげています。



### 〔事業運営への反映事例〕



電気料金口座振替払いやクレジットカード払いの申込みをインターネットでできるようにしてほしい。

インターネットで手続きできるようにしました。書類作成も不要で、ご利用開始までの期間も短くなります。当社ホームページ「インターネットでのお手続き・お申込み」をご覧ください。



スマートメーターに取替え後、「電気ご使用量のお知らせ(検針票)」に指示数が表示されなくなった。指示数の差し引きで使用量を計算したい。

スマートメーターは、指示数の差し引きではなく、30分ごとの使用量を積算し、当月使用量を算出するため、ご要望にお応えできず、大変申し訳ございません。なお、会員サイト「キレイライフプラス」では、過去のご使用量(最大24か月)を日・時間ごとにご確認いただけますので、ぜひご利用ください。



スマートメーターの特徴や「ご使用量のお知らせ」の変更点などについて、当社ホームページで解説しています。



## 「頼れるエネルギー会社」を目指して 取り組んでいます。

販売戦略グループは、お客さまに当社を選んでいただくための戦略の検討や、新規サービスの企画・立案、チラシやCM制作などのPR活動を行っています。私自身も、当社の魅力をしっかりと、分かりやすくお届けするためには何が必要か、常に意識して業務を行っています。

当社に対して堅いイメージをお持ちの方も多いと思いますが、これからは、お客さまに寄り添った、頼れるエネルギー会社として、より身近に感じていただきたい、そして、「九電さん、変わったね」と言ってもらえたら、と考えています。



営業本部 販売戦略グループ こうづま はるな 上妻 春奈

安全・安心の  
追求

# 設備の安全対策や作業者の安全確保を徹底し、 安全・安心を最優先した事業活動を行います

## お客さまや地域の皆さまの安全を確保するため、 感電事故の発生防止対策に取り組んでいます。

### ■ 電力設備への接触防止対策

- ▶ 鉄塔の昇塔防止や発電所・変電所への侵入防止  
昇塔防止装置や外柵、注意喚起標識を設置
- ▶ クレーン車等の重機や釣竿などの送電線への接触防止  
河川横断部などに注意喚起標識を設置



昇塔防止装置



注意喚起標識

### ■ 電力設備工事における 安全対策

- ▶ 道路周辺での工事  
落下物による公衆災害等を防止する  
ネットの設置
- ▶ 電線工事  
作業者の接触による感電等の注意  
喚起・防止のためのシート等の取付



落下防止ネット

### ■ ご家庭での電気の安全な使い方の注意喚起

- ▶ 電気のお役立ち情報をご紹介します 「電気知っ得本」は  
「電気知っ得本」やホームページでお知らせ はこちら ▶



〔電気知っ得本〕

〔当社ホームページ(安全な電気の使い方)〕

#### 電気の安全な使い方

**めれた手は危険!**  
手がめれたままのスイッチの操作やプラグの抜き差しはしないで。

**タコ足はやめましょう**  
タコ足配線は、テーブルタップやコンセントが過熱して危険です。テーブルタップなどの容量の範囲内で使しましょう。

**ホコリは大敵!**  
長期間差し込んだままのプラグとコンセントの間のホコリは取り除いて。火災の原因となることがあります。

**アースの取り付けを忘れないで**  
漏電した場合、感電する恐れがありますので、アースの取り付けを忘れずに。

**「15-125V」の意味は、**  
・15A 使用する家電機器の電流値を合計して15アンペア以下で使用する。  
・125V 電圧が125ボルト以下の家電機器しか使用しないこと。という意味です。

1つのコンセントやテーブルタップで同時に使用できる電流の容量（アンペア）は決まっています。これを定格電流といいます。

- ▶ **タコ足配線にしませんか?**  
通常1つのコンセントの定格容量は15アンペアです。タコ足配線をする、と、定格容量を超え、発熱して発火する危険が高くなります。
- ▶ **コンセント・テーブルタップの容量を超えていますか?**  
差込口の数以内の電気機器しか使っていない、でも、定格容量を超える場合もあります。  
(例) 1,500Wのテーブルタップ  
電気ポット (700W)  
オーブントースター (1,200W) を同時に使うと、定格を超えてしまい危険です。使用する電気機器の電流値を確認して、容量を超えないように使いましょう。

### ■ ご家庭の電気設備の安全調査

当社が委託する九州電気保安協会及び各県の電気工事工業組合の調査員が、お客さま宅を訪問し、電気設備の安全調査を行っています(4年に1回)。

安全調査では、漏電調査や分電盤のネジの緩みの点検のほか、感震ブレーカー※による電気火災対策をお知らせするなど、電気を安心してご使用いただけるよう努めています。

※地震を感知すると自動的に電気を止めるブレーカー



分電盤の点検



調査を装ってお客さま宅を訪問し調査料をだまし取るなど、「**ニセ調査員**」による詐欺が発生しています。

**当社が委託する安全調査では料金を請求することはありません。**

少しでも不審に感じられたときは、身分証明書の提示を求めるとともに、お近くの九州電力までご連絡ください。

?

この他にどのような取組みを行っているの?

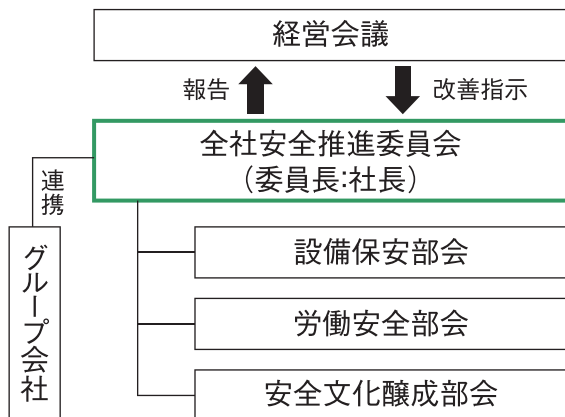
詳しくはウラ面へ

## 「全社安全推進委員会」を新たに設置し、安全の取組みを徹底します

経営トップの強いリーダーシップのもと、地域の皆さまの安心と信頼確保につながる安全対策などを推進するため、「全社安全推進委員会」を2017年4月に設置。

この委員会のもと、社員一人ひとりが安全を最優先する意識を、これまで受け継がれてきた安定供給への使命感である「九電DNA」と同様に、組織に根付かせていきます。

〔全社安全推進体制〕



〔主な取組み〕

- ・当社グループ全体の安全方針の策定
- ・安全に関する地域の皆さまの声の集約・反映
- ・設備保安及び労働安全の計画、実施及び評価・改善
- ・安全文化の醸成(研修・安全大会等の実施)
- ・安全の取組み実績等の情報発信

## 災害に「気づき、学び、考える」そして「やる気を喚起する」安全研修を行っています

グループ会社の(株)九電工では、グループ全社員が安全教育施設(「安全伝承館」)で、安全確保の重要性を学んでいます。

研修参加者は、施設における5つのステップでの学習や、危険体感訓練など、丸1日かけて安全研修を受けており、関連会社を含めた全社員に定期的な受講を義務付けています。(これまで延べ約1万人以上受講)



教育施設  
「九電工アカデミー」  
内に設置しています。

〔5つのステップと主な学習内容〕

### STEP1 気づき ~VTR放映~

- ・過去の災害を身近に感じる
- ・九電工グループの災害撲滅への取組み姿勢を理解する

### STEP2 学ぶ ~九電工社史をパネル展示~

- ・グループの安全に対する基本的な考え方を再認識する

### STEP3 学ぶ ~過去の災害を年表パネルで展示~

- ・主な災害事例とその反省にもとづいた作業基準や作業ルールの制定経緯、工具の改善改良などを知る

### STEP4 考える ~先人の声、家族からのメッセージ等~

- ・先人の体験談から、災害を自分事として捉え、災害が及ぼす影響の視点から今後の安全活動を考える

### STEP5 やる気(決意) ~講義~

- ・安全が企業活動の基本であることを再認識し、安全確保への「やる気」を喚起する

## 九州電力グループ一体となって安全の取組みを推進します

安全統括グループは、「全社安全推進委員会」の事務局として、当社グループ全体の安全の取組みを推進しています。

これまで私たちは、国の基準や社内ルールなどにもとづき、さまざまな安全対策を実施してきました。これからも、地域の皆さまに安心感をもっていただけるよう、皆さまの声を安全対策に反映するなど、安全・安心を追求していきます。

また、継続的な教育・訓練による安全を最優先する風土・文化の醸成や積極的な情報発信なども、今まで以上に取り組んでいきます。



安全推進チームワークショップの様子

コーポレート戦略部門  
安全統括グループ 課長

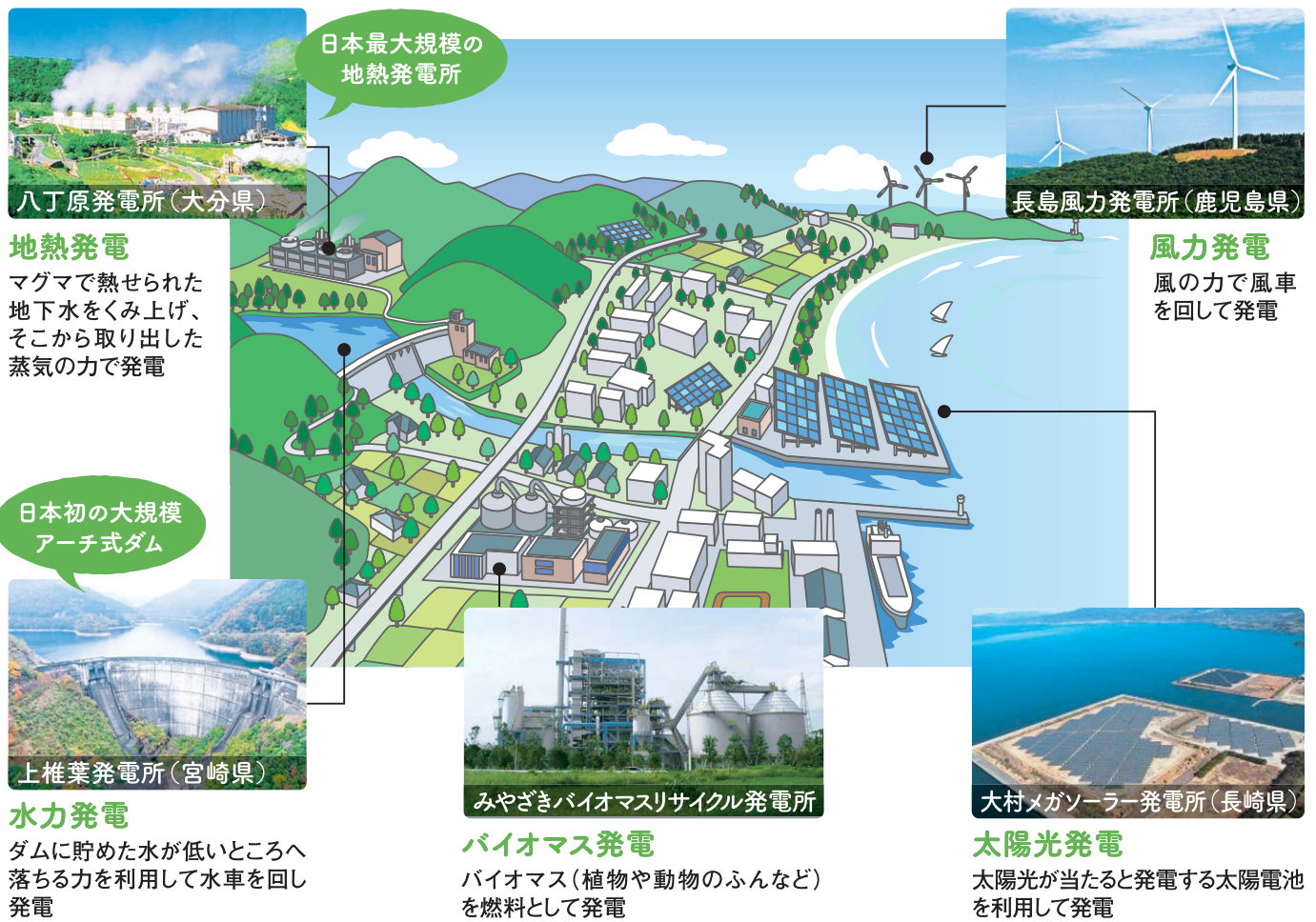
やまもと のりふみ  
山本 軌文  
(左から3番目)



# 地球環境の保全や地域環境との共生 に向けた取組みを推進します

環境にやさしい  
企業活動

地球温暖化防止に貢献するため、  
**再生可能エネルギーを積極的に開発・導入**  
しています。



## 再生可能エネルギーの開発目標

国内外で蓄積した技術・ノウハウを活かし、地熱や水力を中心に、洋上風力についても技術開発の進展等を踏まえながら、開発していきます。

		現状(2017年3月末)		目標(2030年)
<b>180.9万kW</b>	内訳	水力	128.4万kW	<b>400万kW</b>
		地熱	31.9万kW	
		風力	11.8万kW	
		太陽光	4.7万kW	
		バイオマス	4.1万kW	

?

この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

## 世界最大規模の地熱発電所の初号機が 営業運転を開始しました

当社が事業参画する世界最大規模の地熱発電所(インドネシア)の初号機が、2017年3月に営業運転を開始。

国内で培った地熱発電技術を活かし、地球温暖化防止及び現地の電力安定供給に貢献していきます。



サルラ地熱発電所初号機(インドネシア スマトラ島 サルラ地区)



噴気試験

[プロジェクトの概要(当社25%出資)]

事業内容	地熱資源開発から発電までの一貫開発 発電電力はインドネシア国有電力会社に30年間売電
出力	32万kW*(3系列)
運転開始	初号機：2017年3月、第2号機：2017年予定 第3号機：2018年予定

※国内最大である当社八丁原発電所の約3倍の規模

## 原子力発電の活用により CO<sub>2</sub>排出量を抑制しています

2016年度は、川内原子力発電所の年間を通じた安定運転により、火力発電の稼働率が低下しました。これによるCO<sub>2</sub>排出抑制量は、運転を再開した2015年度(1号機:9月、2号機:11月)に比べ、約230万トン程度\*と試算しており、2015年度の総排出量の約6%にあたります。

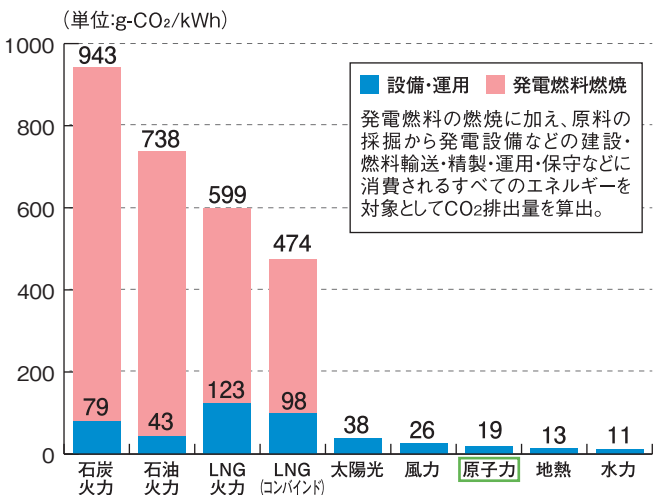
原子力発電は、電力の安定供給や発電コストの低減に加え、CO<sub>2</sub>排出抑制面でも非常に優れた電源であり、今後も、安全確保を大前提に活用していきます。

※2015年度の当社販売電力量あたりCO<sub>2</sub>排出量(調整後)を用いて試算



川内原子力発電所

[日本の電源別のCO<sub>2</sub>排出量]



出典:電力中央研究所報告書をもとに作成

## 環境コミュニケーション大賞 優秀賞を受賞(九州林産)

グループ会社の九州林産(株)が発行した「環境活動レポート2016」が、第20回環境コミュニケーション大賞\*の環境活動レポート部門で大賞に次ぐ優秀賞を受賞。

同社の事業基盤となる生物多様性の先進的な取組みや、環境会計等を活用した定量評価などについて、「読みやすさを意識した完成度の高いレポートである」との評価を受けました。また、九電みらい財団と「くじゅう九電の森」で行っている環境教育についても、「大きな波及効果を生む取組みとして高く評価できる」との講評を受けました。

※主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム



「環境活動レポート」は  
こちらから ▶





誠実で公正な  
事業運営

# 一人ひとりが高いコンプライアンス意識をもち、 誠実で公正な事業運営を行います

## 皆さまから信頼される企業であり続けるため、 社員のコンプライアンス意識を高める 取組みを行っています。

[主な取組み]

### ●コンプライアンス研修・勉強会

- ・社員が主体的に考え、日常の行動につなげていくための研修  
(身近に起こりうる事例を題材としたグループ討議など)
- ・実務担当者向けの勉強会

### ●法令等の情報共有

- ・法令や条例等の改正情報の収集
- ・社内イントラネット等を通じた情報共有

### ●法務サポート

- ・法律相談・契約書審査の実施
- ・法令チェックリスト等の業務点検ツールの整備



コンプライアンス研修



法務・コンプライアンス情報 社内イントラネット「コンプラネット」

## ■当社グループ全体での情報共有、取組みの水平展開

コンプライアンス情報を当社グループ全体で共有する社内イントラネット「コンプラネット」にて、重要な法令改正情報や法令チェックリスト、教育資料などを定期的に更新し、各職場での活用を促進しています。

また、コンプライアンス違反が発生した場合は、当社グループ全体で速やかに情報を共有しており、再発防止の取組みもグループ全体で水平展開し、コンプライアンス違反の発生防止に努めています。

〔「コンプラネット」の主なコンテンツ〕

	項目	内容
法務情報	法令情報	重要な法令改正情報など
	法律相談事例集	よくある法律相談事例
	法律マメ知識	知っておくと役に立つ法律の豆知識
コンプライアンス情報	ニュース&キーワード	企業不祥事等のニュース 関連用語の解説
	コンプライアンス 3分間講座	日常業務の中で判断に迷いがちな 事例等をQA形式で解説
推進・教育 ツール	手引き・チェックリスト	コンプライアンス推進業務に関する 手引きや、法令チェックリストなど
	コンプライアンス教育素材	職場勉強会や研修用の資料など
	取組み好事例	各職場での取組みの好事例

?

この他にどのような取組みを行っているの？

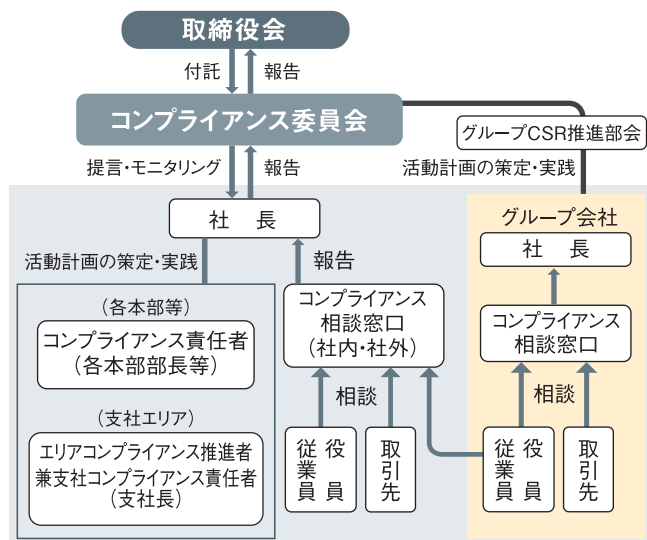
詳しくはウラ面へ

## コンプライアンス経営を推進する体制を整備しています

社長を委員長とする「コンプライアンス委員会」のもと、業務執行機関の長をコンプライアンス責任者として活動計画を実践しており、また、社内外にコンプライアンス相談窓口を設置するなど、推進体制を整備しています。

委員会では、コンプライアンス経営に関する提言やモニタリングを行い、提言内容は、当社グループ全体の取組みに反映しています。

〔当社グループのコンプライアンス経営推進体制(概要)〕



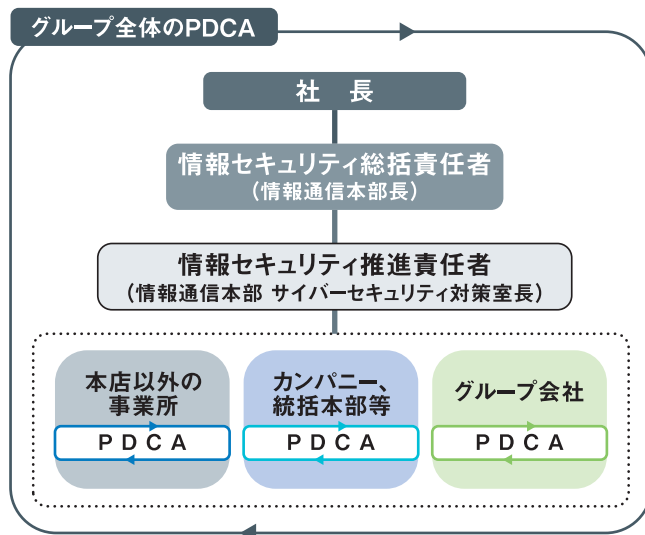
〔コンプライアンス委員会における主な審議・報告事項(2016年度)〕

- コンプライアンス推進における課題と今後の取組み
- コンプライアンス相談窓口の運用状況
- コンプライアンス行動指針の改定
- 九州電力グループ従業員に対するコンプライアンス意識調査結果

## 「サイバーセキュリティ対策室」を設置し、情報セキュリティ管理を徹底しています

国内外におけるサイバー攻撃の増大など情報セキュリティリスクに対応し、電力の安定供給を果たしていくため、サイバーセキュリティ対策室を2016年4月に設置し、当社グループ全体の情報セキュリティレベルの維持・向上を図っています。

〔当社グループの情報セキュリティ管理体制(概要)〕



〔情報セキュリティ対策の主な取組み〕

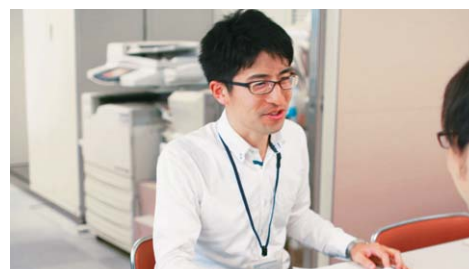
- 情報セキュリティ管理体制のもと、グループ全体のPDCAを推進
- 設備面におけるさまざまな技術的対策
- 標的型攻撃メール訓練や教育などの人的対策
- グループ会社の情報セキュリティレベル向上のためのさまざまな支援

## 社会の皆さまに、“胸を張って見せられる行動・判断”につながる取組みを推進しています。

研修で身に付けたコンプライアンス意識を実行していくには、自分の何気ない行動や考え方を振り返ることが大切です。

九電グループの社員は、自分の行動や判断に迷った時のために、5つのメッセージが書かれた「コンプライアンスカード」を持っています。私は、中でも、“自分や同僚の行動や判断を、家族や友人に胸を張って見せられますか?”という一文が特に印象に残っており、日頃から自分にも言い聞かせるようにしています。

コンプライアンスを推進する部署の一員として、社員一人ひとりの行動が、社会の皆さまに胸を張って見せられるものであるよう、取組みを続けていきます。



地域共生本部 中嶋 さとし  
法務総括グループ



社会との真摯な  
コミュニケーション

# 情報の迅速な公開に努めます 皆さまとのコミュニケーションを積極的に推進します

当社に対するご意見をお聴きし、  
当社の企業活動をお伝えするため、お客さまや地域の皆さまとの  
**フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション**

を推進しています。 **2016年度：延べ約16万人の方々とのコミュニケーションを実施**



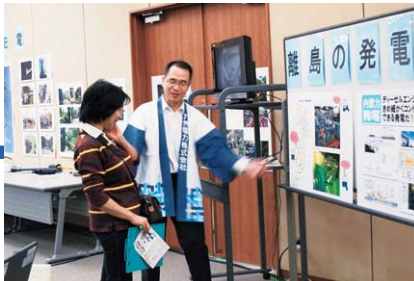
訪問活動



対話の会



出前授業



事業所オープンデー



地域の皆さまとの協働イベント

## ■原子力発電への不安や疑問にお応えするコミュニケーション活動 (玄海原子力発電所周辺地域の全戸訪問)

2017年1月18日、玄海原子力発電所3、4号機について、新たな規制基準にもとづく原子炉設置変更の許可を受領しました。

当社では、許可の内容や発電所の安全対策等に関して、フェイス・トゥ・フェイスで丁寧にご説明し、同時に、地域の皆さまの声をお聴きするため、同年2月に、佐賀県玄海町及び隣接する同県唐津市の鎮西町、肥前町、呼子町の全戸(約7,500戸)を訪問しました。

引き続き、原子力発電所の安全確保に万全を期すことはもとより、全社を挙げて丁寧なコミュニケーション活動に努めていきます。



?

この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ



## 情報公開の徹底

電気の供給に支障のあった事故など、お客さまや社会に影響する事象や、法令違反・企業倫理に反する行為などがあった場合は、記者発表やホームページ等を通じて、迅速・的確な情報公開に努めています。

〔事故や法令違反等に関する情報公開実績〕

	2014年度	2015年度	2016年度	【主な内容】
供給支障関係	36	22	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヒューマンエラーによる供給支障事故</li> <li>● 新小倉発電所3号機運転停止</li> <li>● 電気料金の算定誤り</li> </ul>
原子力関係	1	1	3	
設備トラブル	8	6	7	
その他	1	3	5	
合計	46	32	24	

## 原子力関連情報の公開とコミュニケーション活動

原子力発電所の安全対策や、発電所の運転状況等の情報についても、積極的に公開しています。

(原子力関連情報の記者発表件数(2016年度):53件)

また、九州全域での訪問活動や発電所見学会、現場公開などで、安全対策についてご説明するなど、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションを行い、皆さまのご理解や信頼を得られるよう努めています。



川内原子力発電所の現場公開

## 積極的な情報発信

テレビやホームページ、フェイスブックなど、さまざまなメディアを通じて、企業活動を積極的に発信しています。

また、非常災害時には、フェイスブックで復旧作業状況を発信しており、「九州電力携帯メールサービス」では、非常災害時だけでなく突発的に発生した停電時においても、停電戸数や復旧見込み等をメール配信するなど、タイムリーに情報を発信しています。



テレビCM(みらいへの手紙「送配電篇」)



九州電力公式Facebookで非常災害の復旧状況を発信しています。



YouTubeの九州電力公式チャンネルでも、情報を発信しています!

「九州電力携帯メールサービス」のご登録はこちら



## 事業所オープンデー

地域のお客さまからの日ごろのご愛顧に感謝の気持ちをお伝えするため、九州各地の事業所で、さまざまなイベントをお楽しみいただく「事業所オープンデー」を開催しています。

「高所作業車乗車体験」や「IH調理体験」などの電気に関するイベントのほか、熊本復興支援バザーや地元高校生によるミニライブなど、皆さまにお楽しみいただけるよう、工夫を凝らして実施しています。

2016年度：34回開催



高所作業車乗車体験  
(大村配電事業所・営業所)



自転車発電機体験(鹿児島支社)



地域・社会との  
共生

# 環境活動や次世代育成支援活動、各地域の課題解決活動に重点的に取り組めます

『九電みらい財団』を2016年5月に設立。

九州電力の思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現していくため、環境活動・次世代育成支援活動を積極的に行っています。

「九電みらい財団」のホームページはこちら



## 環境活動

### 〔環境保全〕

大分県竹田市の坊ガツル湿原一帯の自然環境を守り続けるため、野焼きや外来植物駆除、ミヤマキリシマ(希少植物)の植生保護などの活動を地域の方々と協働で行っています。

2016年度：活動5回、約600名参加



坊ガツル湿原/野焼き活動(8~3月)



平治岳/植生保護活動(5月、10月)



平治岳に咲くミヤマキリシマと坊ガツル湿原(6月)

### 〔環境教育〕

大分県由布市にある社有林「くじゅう九電の森」で、小中学生を対象に、森の役割を学んだり、林業体験や森林観察などを行っています。

2016年度：活動19回、約700名参加



林業体験



森林観察

## 次世代育成支援活動

子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの団体が取り組む次世代育成支援活動への助成を行っています。

2016年度：20団体に助成

### 助成団体の活動紹介(NPO法人 心音[鹿児島県沖永良部島])

NPO法人「心音」は、定住・移住促進や障がい者通所支援など、地域活性化や福祉増進に取り組む団体です。

同団体では、2016年の冬休みに、ひとり親や共働き世帯の子どもたちが対象の無料学習塾を開催。大学生が先生役を務めたり、地域の方がランチを提供したりして、普段はひとりで暗い家に帰る子どもたちを迎えました。子どもたちは、勉強の休憩時間に大学生を取り囲んで大騒ぎ。和やかな雰囲気の中、子どもたちの学習するきっかけづくりをお手伝いしました。



?

この他にどのような取り組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

## 九州各地の森で 「Play Forest」を行っています

子どもたちの環境を大切にすることを育むため、森を「学ぶ」「守る」「楽しむ」イベント「Play Forest」を2016年度から行っています。

環境団体や企業の皆さまとともに、子どもたちがワクワクするプログラムを用意し、森の中で楽しみながら、自然の大切さを学んでもらっています。

2017年度は、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、開催回数を増やしていく予定です。ホームページでご案内しますので、ぜひご参加ください。

2016年度：8回開催、約4,300名参加



間伐材を活用した「マイ箸づくり」



苗づくり



ロープで木に登る「ツリーイング」



「Play Forest」の  
ホームページはこちら

## 九州各地で、地域の皆さまと一緒に ボランティア活動を行っています

NPOや地域の皆さまと協力して取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」を行っています。

2016年11月に、熊本支社で、熊本県宇城市の世界遺産「三角西港」において、文化財の清掃や高所作業車による街路灯の清掃などを行いました。

同年12月には、佐賀支社で、佐賀駅北部を活性化するイベント「ふれあいフェスタ2016」を開催。地元の団体や高校生による和太鼓の演奏、福祉事業所による軽食販売、佐賀市のバイオマスPRなど、多くの方とコラボして、にぎわいました。

今後も、地域が抱える課題の解決に、地域の皆さまと一緒に取り組んでいきます。

2016年度：30回開催、約2,100名参加



三角西港 清掃活動（熊本支社）



「ふれあいフェスタ2016」（佐賀支社）



## 地域の皆さまとともに、 課題解決に貢献していきます。

福岡支社エリアでは、これまで、「Play Forest」を3回、「こらぼらQでん」を16回開催し、延べ約4,300名の社外の皆さまにご参加いただきました。毎回、募集開始後、あっという間に定員を超えるほどの人気のイベントで、私たちは、喜びとともに、皆さまの期待に応えなければならないプレッシャーの中、手作りでご案内内容を考えています。

これからも、子どもたちへの環境教育や、地域のさまざまな課題の解決に貢献する活動を企画し、皆さまにご案内していきます。

多くの方々のご参加をお待ちしています！



福岡支社 企画・総務部  
総務グループ

みのだ だいすけ  
蓑田 大輔





人権尊重・  
働きがいのある  
職場づくり

# 人権を尊重し、多様な人材が最大限の能力を 発揮できる職場環境をつくります

## 多様な人材を活かすダイバーシティ推進 に取り組んでいます。



管理職が率先してダイバーシティを  
推進していくためのセミナー



配電作業(女性社員)

[ダイバーシティ推進の取組みの柱]

- 意識・組織風土改革
- 人材育成
- 働きやすさと働きがいの追求

女性活躍推進については、2018年度までの

## 女性管理職の新規登用数を過去5年間の**2倍**

(2009～2013年度)

にすることを目指します。

### ■女性活躍推進の取組みに関する国からの認定

[えるぼし]

2016年7月、女性活躍推進法  
にもとづく「えるぼし※」の「2つ星」  
の認定を受けました。

(九州の企業で2社目の認定)

平均勤続年数や労働時間など、  
5つの評価項目のうち3項目が  
評価基準を満たしました。



「えるぼし」認定マーク

※女性活躍推進の優良企業を厚生労働大臣が認定。  
える(L)には、Lady(女性)、Labour(働く、取り組む)、  
Laudable(賞讃に値する)などの意味が込められています。

[くるみん]

2015年には、次世代認定マーク  
「くるみん」を取得しています。  
(2013年に引き続き2回目の取得)

多様な勤務制度の導入など、  
仕事と子育ての両立支援の取組み  
が認められました。



「次世代育成支援対策推進法」にもとづく  
厚生労働大臣認定マーク(愛称:「くるみん」)

?

この他にどのような取組みを行っているの?

詳しくはウラ面へ

## 多様な人材が活躍できる環境づくり (グループ会社)

### 〔柔軟な働き方の推進〕

九州通信ネットワーク(株)では、仕事と家庭の両立支援などを目的に、全社員を対象としたテレワーク勤務制度「QTスマートワーク」を2016年4月から導入。

自社技術を活用して、職場のパソコンのデスクトップ環境を自宅や社外で利用することができるため、社員が働く場所や時間の使い方を自ら選べるようにしています。

### 〔障がい者の雇用促進〕

障害者雇用促進法に基づく当社の特例子会社として、(株)九州字幕放送共同制作センターを2004年に設立。

6名の障がい者の方々を雇用し(2017年6月現在)、音声が聴き取りにくい聴覚障がい者や高齢者の方々がテレビを楽しむための字幕を制作しています。



障がい者の方々の働く職場  
(株)九州字幕放送共同制作センター

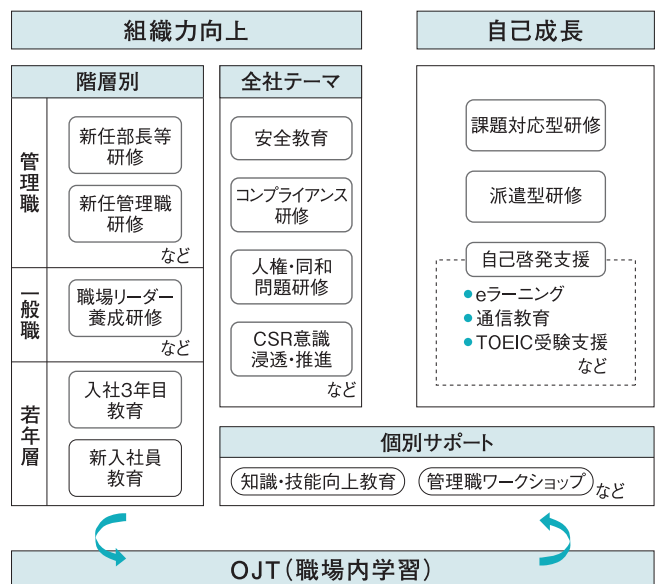
## 社員の人的・能力的な成長を 促す教育・研修を行っています

社員一人ひとりが向上の意欲を持ち、人的・能力的な成長を促すとともに、人材育成を重視する職場風土をつくるため、さまざまな教育・研修を行っています。

### 〔中期教育方針 重点項目〕

1. 一人ひとりのリーダーシップとそれを引き出す管理職のマネジメント力強化
2. 強固な事業基盤の基礎となる専門知識・技能の維持・向上と九州電力グループ一体となった競争力強化に向けた教育の推進
3. 企業の社会的責任を果たす上で求められる意識・能力の向上
4. OJTを基盤とした人材育成や能力向上に積極的に取り組む職場風土の醸成

〔2017年度教育計画(全社教育)の概要〕



## 「九州電力の思い」を実現できる 社員を育成します。

教育計画の策定や新入社員教育など、社員の人材育成に取り組んでいます。「企業は人なり」とも言われるとおり、企業が存続し発展を続けていくために、人材育成は最も重要な取組みの一つだと思っています。今年の新入社員教育では、初めて講義やクラスの運営を担当しました。講義では、一对多で何かを伝え、理解してもらうことの難しさを実感し、クラス運営では、新入社員の主体性を重視しながら集団としての規律を指導するバランスに悩みました。一か月半にわたる教育期間を通して、新入社員とともに、自分自身も成長できたと感じています。

これからも、九州電力の思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現できる社員の育成を目指して、挑戦を続けていきます。



社員研修所  
教育計画グループ  
しらishi えり  
白石 恵梨